

平成23年度北海道PCB廃棄物処理施設総合防災訓練の実施結果について

1. 実施日時 平成23年9月9日(金)10時00分～11時30分(天候:曇り時々雨)
2. 場 所 北海道PCB廃棄物処理施設 処理棟
3. 参加人員・装備
公設消防隊：隊員約25名、車両：9台（消防車7（高所放水車1台を含む）、救急車1、機材運搬用トラック1）、除染テント1張、化学防護服3着
日本環境安全事業(株)（JESCO）： 約30名
室蘭環境プラントサービス(株)（MEPS）： 約80名
4. 訓練の目的
今回の防災訓練は、北海道事業所が平成20年5月に本格操業開始以降4回目の総合防災訓練である。JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部が連携して、火災発生時の現場での基本行動、役割分担、自衛防災組織活動、関係機関との連絡、屋内消火栓からの実放水等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認することを目的とした。
5. 訓練概要
今回の訓練事象は二部構成で実施した。
第一部は、①地震発生(震度4程度)、②火災発生(事務棟3階喫煙室から出火)、③消火器での初期消火に失敗、④付近の屋内消火栓からの放水消火が必要、⑤屋上で逃げ遅れた作業員の救助が必要、という想定で実施した。
第二部は、PCBに汚染している負傷者が発生(管理区域レベル1でPCB汚染油を運搬している作業員が転倒し、PCB汚染油を被液、さらに転倒時に骨折した模様)という想定で実施した。その結果、予定していた以下の訓練項目
(1) 地震発生時の設備点検
(2) 火災発生時の連絡・通報
(3) 自衛防災隊設置
(4) 消火活動(ライフム装着による模擬初期消火、屋内消火栓からの実放水)
(5) 避難、誘導
(6) 屋上で逃げ遅れた作業員の公設消防車による救助
(7) 関係機関への通報・連絡
(8) 負傷者救助(公設消防によるPCB汚染のある負傷者の救出及び除染並びに搬送)をJESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部の連携の下、滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。

6. 反省事項

訓練の反省会を9月22日に実施した。主な反省点は以下のとおり。

① ハード面

- ・ 第1部での全館放送の不具合 →JESCOにて再チェックする。
- ・ 全館放送はJESCO 1F 居室から所長自ら実施 →次回訓練時に実施する。
- ・ 対策本部長の指示が聞き取れない →マイクスタンドを2本立ててやり取りを聞かせる。
- ・ 使用した防護服の回収箱 →JESCO側で準備することを事前に消防に伝える。
- ・ 一斉通報FAXの導入 →JESCO 総務課にて検討する。
- ・ エアストレッチャーの作業スペースへの配置 →事務局で調整する。
- ・ トランシーバーの受信状況の改善 →事務局でメーカー調査を依頼し改善する。

② ソフト面

- ・ ゼッケンは役職名（本部長、班名、来賓・マスコミ対応や写真係）で表示
→本部名＋（役職名または班名）を記載したゼッケンを作成する。
- ・ 避難時に歩いている人、私語等があった
→室内は急ぎ足、屋外は小走りとすることでシナリオ周知時に説明する。
- ・ 業者のトラックが訓練エリアに入ってきた →業者車両の通行禁止の徹底を図る。
- ・ 実放水時にホース伸ばしに時間がかかった →実放水訓練の実施を検討する。
- ・ 各班の役割や員数 →事前打合せで役割や員数を明確化する。
- ・ 対策本部長のサポート役が必要 →対策副本部長がその任にあたる。
- ・ 点呼方法を予め決めておくこと →対策本部立上時と避難終了時の2回としたい。

7. 訓練状況

添付1に訓練の実績スケジュール、添付2に訓練の写真を示す。

平成23年度総合防災訓練時間経過(計画・実績)

時刻	指示・報告・連絡者等	事象
実績	計画	
	第一部	
10:00	10:00	地震発生(震度4程度)
10:00		全館放送① 「地震発生」と各エリアの設備点検、トランシーバー緊急時設定を指示
10:01		見学者0名を確認 (JESCO総務課)
10:05	中制→副所長 連絡	「受払、真空加熱、洗浄、分析 設備点検結果、異常無し」報告
10:07	中制→副所長 連絡	「解体、液処理 設備点検結果、異常無し」報告
10:08	中制→副所長 連絡	「全エリア 設備点検結果、異常無し」報告
10:10	10:10	火災報知機吹鳴 →MEPS池田社長 「火災の確認、初期消火」を指示
10:13		全館放送 3F喫煙室で火災確認・初期消火中 連絡、
	青木所長→中制 指示	青木所長:全職員避難、設備緊急停止、自衛防災隊設置 を指示
		全館放送 ①全職員避難、②設備緊急停止、③自衛防災隊設置 を指示
10:15		自衛防災隊設置完了
10:19		対策本部、指揮本部、自衛消防隊 点呼人員確認指示
10:19		初期消火失敗
10:20		消防隊長 指示 消火栓による放水消火指示
10:20		対策本部、指揮本部 点呼確認 報告
		・対策本部7名、・指揮本部10名 避難完了 (記録班:写真 2名除く)
10:22	対策本部長→渉外班長	第一報指示 → 10:32完了
		<<・火災発生 ・ケガ人無し ・初期消火失敗 ・消火栓放水消火 ・119番通報>>
10:24		屋上作業員 (カワムラコウタロウ 24歳) 取り残し判明
10:25		公設消防隊へ 屋上作業員の救助要請
10:26		MEPS(消防隊・避難者)点呼確認 報告
		<<・保安要員7名を除く106名 避難完了 ・カワムラコウタロウ24歳 避難不可報告>>
10:27		消火栓放水による鎮火
10:29	消防隊長→消火班	消火栓放水用ホース撤去 指示
10:30		公設消防隊 到着
10:31		自衛防災隊から 公設消防隊へ指揮権 委譲
10:41		屋上作業員 (カワムラコウタロウ 24歳) 救助完了
10:45		公設消防隊から 自衛消防隊へ 指揮権 返還
		・鎮火確認 ・救助完了
10:46		第二報指示 → 10:55完了 (FAX発信 11:00完了)
		<<・鎮火確認 ・救助完了 ・OLM異常なし ・漏洩無し ・周辺環境異常無し
		・その他異常無し ・自衛防災隊 解散>>
10:52		全館放送 第一部 全イベント完了

第二部

10:53		全館放送 「液処理エリア2Fで作業員が転倒。運搬していたPCB汚染油を被浴。歩行困難」
11:15	公設消防隊	要除染救助者 引渡し完了
11:20		公設消防隊から 自衛消防隊へ 指揮権 返還
11:22		所長より、防災訓練第二部終了 の 全館放送指示
11:23	全館放送	総合防災訓練終了、引き続き 講評
	来賓→参加者	胆振総合振興局環境生活課 山田主幹殿、室蘭市消防本部 小川署長殿からの講評
11:45	所長挨拶	訓練終了と来賓への謝辞

第1部 地震により3F喫煙室からの出火・屋上要救助者発生を想定した訓練



地震発生直後の中央制御室



火災報知機吹鳴による初期消火指示



所長の避難及び自衛防災隊設置指示



自衛消防隊 設置完了



消火班による放水消火



公設消防隊 現場指揮本部 設置



高所放水車による避難者の救助





連絡・渉外班長から班員へ対外報告を指示



所長より 訓練第一部終了宣言

第2部 地震により液処理エリア2Fで要除染救助者発生を想定した訓練



消防隊長から対策本部長へ事象報告



要救助者をエアストレッチャーへ固定(液処理 2F)



公設消防隊による要除染者の救護(階段室)



除染テントへの 救助者の搬送



訓練終了後 全員整列



来賓講評 (小川室蘭消防署長)